

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		郷土の偉人顕彰事業		担当課	文化振興課	担当係	地域文化振興係	管理番号	74221	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	3	郷土の歴史・文化の継承と活用							
	主要プロジェクト									
事業概要		地域の優れた先人たちについて、顕彰し、その地域の歴史や文化を見直し、地域住民の誇りを高め、地域への愛着を醸成するものである。								
目的 ※何のために		地域の活性化								
対象 ※誰・何を対象に		一般市民の方								
手段 ※どのように		偉人に関する資料や展示、講演会等を実施する。								
成果 ※何を求めるか		偉人を通じた地域の文化や歴史への理解が深まる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業	区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)			
	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	9	地域文化振興費	畠山重忠顕彰事業		1,200,219
本事業の 主な業務	・郷土の偉人の顕彰					・				
	・畠山重忠公史跡公園・鶯の瀬公園の管理					・				
	・					・				
	・					・				
	・					・				
	・					・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画			・顕彰事業の実施 ・キャラクターデザイン等の活用	・顕彰事業の実施 ・キャラクターデザイン等の活用	・顕彰事業の実施 ・キャラクターデザイン等の活用 ・畠山重忠公史跡公園等の管理			
事業費	予算（現額）	12,482,000	7,428,000	2,203,000	1,944,000			
	決算額	11,187,908	5,251,576	1,200,219	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	276,000		
		一般財源	11,187,908	5,251,576	1,200,219	1,668,000		
人件費	従事職員数（人）	0.55	0.60	0.80	0.80			
	人件費相当試算※	4,328,257	4,806,099	6,577,793	6,822,256			
総事業費試算		15,516,165	10,057,675	7,778,012	8,766,256			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	展示、講演会等の開催	目標値	回						
		実績値		2.00	2.00	2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		偉人の紹介であるため目標値の設定はしない。 / 企画展の開催						
	実績値の算出式								
成果指標 1	展示、講演会等の来場者数	目標値	人	353.00	1,600.00	373.00	200.00	200.00	200.00
		実績値		1,600.00	373.00	200.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度の来場者を目標とする。 / 事業報告書						
	実績値の算出式								
成果指標 3	デジタルミュージアム掲載人数	目標値	人						
		実績値		161.00	161.00	161.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		偉人の紹介であるため目標値の設定はしない。 / 市ホームページより						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	畠山重忠公の献花式及び関連する映画上映会を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	献花式や映画上映会のほか、デジタルミュージアムにおいて深谷市にゆかりのある偉人を紹介することにより、偉人を通じた地域の文化や歴史への理解が深まった。
			評価者 文化振興係長 荻野 光雄

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	運営体制について、畠山重忠公献花式は顕彰会、映画上映会は、深谷シネマと連携して事業を円滑に実施できた。
			評価者 文化振興係長 荻野 光雄